

関係各位

一般社団法人 日本技術者連盟  
会長 村上 雅人**「欧州・トルコにおける無人機（UAV/USV/UUV）先端技術と  
防衛産業サプライチェーン調査団」  
ご案内**

拝啓 時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
この度、本連盟では、「欧州・トルコにおける無人機（UAV/USV/UUV）先端技術と防衛産業  
サプライチェーン調査団」を編成し、関係機関の訪問を企画しております。

近年、無人機技術は、防衛・安全保障分野はもとより、災害対応、海洋資源探査、港湾・インフラ点検、  
物流といった民間分野（デュアルユース）にも急速に拡大しており、その技術革新と産業基盤の整備は、  
各国にとって国家戦略上の重要課題となっています。

本調査団では、トルコ、ドイツ、英国を訪問し、以下の3分野を軸に調査を行います。：

1. 先端技術の研究開発動向の把握（AI・センサー・通信・電源等）
2. 無人機の製造・運用・輸出体制の現地調査
3. サプライチェーンと国際共同開発の体制分析

加えて、ドローンスタートアップ企業から大手防衛企業・研究機関・政府当局まで、幅広い関係者との  
意見交換を通じ、日欧・日トルコ間の連携可能性や人材育成、共同研究・部品供給スキーム等の  
実現可能性についても探る予定です。

この訪問を通じて得られる知見は、日本の防衛技術基盤の強化、サプライチェーンの多元化、中小企業の  
国際展開にも資するものと期待しております。

つきましては、本趣旨にご賛同頂き、調査団へのご参加をご検討賜りますようお願い申し上げます。

敬具

**【調査項目】**

- UAV/USV/UUVに関する先端開発動向  
（プラットフォーム設計、AI制御技術、センサー・通信・電源システムの最新技術）
- 無人機の製造・運用・輸出体制  
（モジュール化・内製化の進展、輸出管理体制、量産プロセス等）
- NATO諸国およびEU域内における共同開発・調達の仕組み  
（OCCAR、欧州防衛基金（EDF）活用等を含む）
- サプライチェーンの構造と中小企業の役割  
（下請・部品供給企業の育成、スタートアップとの連携事例）
- 軍民両用（デュアルユース）技術の事例  
（海洋調査・災害対応・インフラ保守・物流等への応用）
- 日本との連携の可能性  
（日欧間の共同研究、人材育成、技術マッチング、展示会・開発交流等）

本調査団の資料の入手  
は、下記のQRコードを  
スキャンしてください



〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号  
TEL: 03-6229-1946 FAX: 03-6229-1940  
E-mail: gyomu1@jef-site.or.jp  
URL: <http://www.jef-site.or.jp>  
URL: <https://www.wkx21c.org>

# 「欧州・トルコにおける無人機（UAV/USV/UUV）先端技術と 防衛産業サプライチェーン調査団」

## 参加要項

1. テーマ：「欧州・トルコにおける無人機（UAV/USV/UUV）先端技術と  
防衛産業サプライチェーン調査団」
2. 期 間：2026年3月14日（土）～3月22日（日）9日間
3. 主 催：一般社団法人 日本技術者連盟（JEF）
4. 後 援：一般財団法人防衛技術協会（ご依頼中）
5. 団 長：

### ● 宮川 眞喜雄

元駐マレーシア特命全権大使、  
前内閣官房国家安全保障局国家安全保障参与。



- 1974 年東京大学工学部航空学科宇宙コース卒。
- 1989 年オックスフォード大学国際政治学博士号取得。
- 1976 年運輸省入省。
- 1979 年外務省へ移籍。総務課法令班長、内閣官房副長官秘書官、北米第二課及びロシア課首席事務官、経済局開発途上地域課長及びアジア大洋州局地域政策課長、日本国際問題研究所所長、在ジュネーブ日本政府代表部大使、気候変動交渉担当大臣官房審議官、軍縮不拡散科学部長、日米原子力協力大使、中東アフリカ局長兼アフガニスタン・パキスタン政府特別代表、駐マレーシア特命全権大使、国家安全保障局国家安全保障参与を歴任。
- 東京大学及び政策研究大学院大学で客員教授。著書：「Do Economic Sanctions Work?」（Macmillan 社）、「経済制裁」（中央公論社）、訳書：「同盟の力学」（東洋経済新報社）、その他論文多数。
- 2014 年 フランス国家功労勲章コマンドゥール受章  
(L'Ordre National du Mérite au grade de Commandeur)

## 6. 調査項目：

- ① UAV／USV／UUVに関する先端開発動向
- ② 無人機の製造・運用・輸出体制
- ③ NATO諸国およびEU域内における共同開発・調達の仕組み
- ④ サプライチェーンの構造と中小企業の役割
- ⑤ 軍民両用（デュアルユース）技術の事例
- ⑥ 日本との連携の可能性

# 「欧州・トルコにおける無人機(UAV/USV/UUV)先端技術と 防衛産業サプライチェーン調査団」

## 派遣に伴うご案内

### 7. 参加対象

防衛産業に携わる企業／団体／公的機関、また今後 防衛産業に参入する意思のある中堅・中小企業及びスタートアップ企業関係者の皆様。

### 8. 募集人員：10 名

### 9. 参加費：¥ 1,900,000-（税別）

### 10. 通訳・プロジェクトマネージャー：全行程同行

### 11. ホテル：一人部屋

### 12. 総合事務局：株式会社アジア技術移転機構 東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号 TEL: 03-6229-1950

### 13. 運営実施/旅行取扱：観光庁長官登録旅行業者

### 14. 申込方法：最終ページの参加申込書に必要事項をご記入の上、以下の3点を添えて、

**2026年1月15日（木）までに、**

E-mail ([gyomu1@jef-site.or.jp](mailto:gyomu1@jef-site.or.jp)) にてお申込み下さい。

事務局担当者より、ご連絡申し上げます。

- 参加者のパスポートの顔写真のついたページのカラーコピー  
(パスポートを取得されていない場合は、取得予定日をお知らせください)
- 名刺のコピー（和文と英文）
- メンバーリスト作成用 顔写真のデータ（パスポート取得時のものでも可能）。

### 15. 代金支払：一般社団法人 日本技術者連盟の総合事務局、株式会社アジア技術移転機構より 請求書をご送付申し上げます。

期日までにお振込み下さいますよう、お願い申し上げます。

※ 稟議の都合上お申込みが締切日を過ぎる場合や、参加者にご変更の可能性がございます  
場合には、お手数ですが日本技術者連盟（電話03-6229-1946）までお問い合わせ  
下さい。

※ 日程その他に変更が生じた場合には、参加要項に変更がありますことを予めご了承下さい。



一般社団法人日本技術者連盟

〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号

TEL: 03-6229-1946 FAX:03-6229-1940

E-mail: [gyomu1@jef-site.or.jp](mailto:gyomu1@jef-site.or.jp)

URL: <http://www.jef-site.or.jp>

URL: <https://www.wkx21c.org>

## 「欧州・トルコにおける無人機（UAV/USV/UUV）先端技術と 防衛産業サプライチェーン調査団」



2026年3月14日（土）～3月22日（日） 9日間

日次	月・日・曜	都市名	交通機関	現地時間	スケジュール	食事
1	3/14 (土)	羽田発 トルコ/イスタンブール 到着	NH219	08:30 16:10	羽田国際空港 出発 イスタンブール空港 到着 イスタンブール泊	機内食 機内食 夕 ○
2	3/15 (日)	イスタンブール			自由研修 イスタンブール泊	朝 ○ 昼 ○ 夕 ○
3	3/16 (月)	イスタンブール	地上移動		Baykar Technologies（トルコ/イスタンブール）視察 TUSAŞ（トルコ航空宇宙産業/トルコ・アンカラ）視察 イスタンブール泊	朝 ○ 昼 ○ 夕 ○
4	3/17 (火)	イスタンブール発 ドイツ/ケルン着	TK1671	09:10 10:35	イスタンブール空港 出発 ケルン・ボン空港 到着 OCCAR（Organisation Conjointe de Coopération en matière d'Armement）視察 ケルン泊	朝 ○ 昼 ○ 夕 ○
5	3/18 (水)	ケルン	地上移動		DLR（(Deutsches Zentrum für Luft und Raumfahrt) ドイツ航空宇宙センター 視察 ケルン泊	朝 ○ 昼 ○ 夕 ○
6	3/19 (木)	ケルン発 ロンドン/ヒースロー到着	EW460	08:40 09:05	ケルン→ RUSI（Royal United Services Institute for Defence and Security Studies）視察 ロンドン泊	朝 ○ 昼 ○ 夕 ○
7	3/20 (金)	ロンドン・ポートンダウン	地上移動		ロンドン→ポートン・ダウン→ロンドン Dstl（Defence Science and Technology Laboratory）視察 ロンドン泊	朝 ○ 機内食 機内食
8	3/21 (土)	ロンドン/ヒースロー発	NH212	19:00	ロンドン・ヒースロー空港発 機内泊	朝 ○ 昼 ○ 機内食
9	3/22 (日)	羽田到着	NH212	17:55	羽田国際空港 到着	機内食

※上記日程の記載内容は予定であり、訪問先を含め、今後変更になる場合があります。

NH: ANA国際線、TK:ターキッシュ エアラインズ、EW:ユーロウィング

## 「欧州・トルコにおける無人機(UAV/USV/UUV)先端技術と 防衛産業サプライチェーン調査団」 訪問先予定先概要

\* 下記より5～6か所訪問予定。訪問先は都合により変更になる場合もございますので、予めご了承下さい

### ● Baykar Technologies (トルコ／イスタンブール)

- **概要**：トルコの防衛産業における無人航空機（UAV）分野の中核企業。主力製品の Bayraktar TB2 および Akinci は、ウクライナ戦争、中東紛争などで実戦投されており、高性能・低コストの MALE 型（中高度・長時間滞空型）UAV として高く評価されている。
- **主な製品**：Bayraktar TB2、Bayraktar TB3（艦載対応）、Akinci（大型UCAV）
- **関連企業**：TUSAŞ（TAI）、Roketsan（兵装統合）、ASELSAN（センサー・通信）等。
- **訪問目的**：UAV 開発・生産・輸出体制の把握、部品内製化戦略と国際供給網の実態理解、日本企業との技術・電子機器分野での協業可能性の探索
- **調査ポイント**：
  - ① スト競争力の源泉（内製率、設計思想） ② NATO 域内外への輸出管理体制
  - ③ 欧州・アジアとのサプライチェーン連携状況 ④ 日本製センサー・電子部品への期待と 適合性など。

### ● OCCAR : Organization Conjointe de Coopération en matière d'Armement (OCCAR) ボン

- **概要**：欧州各国（仏独伊西等）による共同兵器調達・開発を担う政府間機関。Eurodrone（MALE RPAS）などの無人機プロジェクトも管理し、欧州防衛産業の自律性確保・共同開発・輸出枠組みを 統括している。
- **関連プロジェクト**：Eurodrone（Airbus・Dassault・Leonardo 共同開発）
- **訪問目的**：欧州の多国間装備調達・開発体制（UAV 含む）の理解、日本との部品供給・規格整合・共同開発 余地の検討
- **調査ポイント**：
  - ① Eurodrone の開発状況と各国分担体制 ② 防衛輸出規制と EU/NATO 間の調整枠
  - ② 日欧サプライチェーン連携（特に電子部品・複合材料分野）など。

### ● RUSI : Royal United Services Institute for Defence and Security Studies ロンドン

- **概要**：1831 年創設の英国最古の安全保障・防衛政策シンクタンク。無人機の戦術的活用、C-UAS（対ドローン 防空）、産業供給網、AI 搭載兵器など幅広い分野で分析と政策提言を実施。
- **主な研究テーマ**：
  - ① ウクライナ戦争における UAV/FPV ドローンの役割
  - ② 英陸軍・NATO における無人機運用の教訓
  - ③ 無人機の商用・軍用融合（デュアルユース）と戦場展開
- **訪問目的**：無人機・ドローンを巡る実戦分析、戦術思想、産業政策との関連に関する専門家との意見交換
- **調査ポイント**：
  - ① 小型・商用ドローンの戦術転用 ② 英国における C-UAS 政策・研究状況
  - ② 日本との共同研究・情報共有の可能性（戦術分析・安全保障）など。

#### その他、下記を訪問予定・検討中

#### ● TUSAŞ (トルコ航空宇宙産業／トルコ・アンカラ)

**訪問目的**：国家主導型 UAV 開発の全体設計思想と内製技術の把握

#### ● German Aerospace Center (Deutsches Zentrum für Luft- und Raumfahrt, DLR) ケルン

ドイツ国立の航空宇宙研究機関で、航空機・宇宙・交通・エネルギー・無人機技術など多分野にわたる研究開発を行っている。ドローン・無人機技術およびそれを支えるインフラ・制度・実証環境問題など。

#### ● Dstl (Defence Science and Technology Laboratory

ロンドン郊外

**訪問目的**：無人機・C-UAS の研究開発プロセスと政策連携枠組みの把握など。



## 参加費に含まれるもの

### I) 旅行上の諸費用

- 団体エコノミークラス航空運賃
- 燃油特別付加運賃、空港税等
- ホテル宿泊費（税・サービス料含む）
- 食事代（日程記載分。飲物は含まず）
- 現地陸上交通費（空港・ホテル・視察先への車代、ガイド代、列車代、チップ代等）
- 会議参加費及び施設等見学費
- 団長・通訳・プロジェクトマネージャー同行費用

### II) 現地諸機関折衝及び手配料

- 現地 手配費用
- 現地 事前打合せ出張等諸費用

### III) 企画・運営業務費など

- 企画運営費及びコーディネート費
- ツアー管理費
- 事前打合せ会/調査関連資料提供費
- 調査報告書作成費 他

## 参加費に含まれないもの

原則として左記以外は含まれません。その一部を例示します。

- 渡航手続き諸費用（旅券取得費用、渡航手続取扱料金等）
- 個人的経費（電話代、クリーニング代、チップ、飲み物代等）
- 集合時及び解散後の交通費
- 超過手荷物料金
- 任意の海外旅行傷害保険費用
- ご自身の障害・疾病に関する医療費

## お客様のご都合によるキャンセル規定（特別キャンセル規定）

- お申し込み後、旅行開始日の前日から起算して31日目にあたる日までの取消料：お申込金 50万円（消費税別）、及び航空券・宿泊料金などのキャンセル料の実費（旅行社等支払分）
- 旅行開始日の前日から起算して30日目に当たる日以降から旅行開始3日前までの取消料：参加費の50%、及び企画手配料 10万円
- 旅行開始日の前々日以降の取消料：参加費全額

詳細は事務局までお問い合わせ下さい。

## その他

- ◆ 参加費は、2025年10月末日時点の運賃及び7名以上の参加者数に準拠したものです。ご出発前に、参加人員や燃油特別付加運賃に大幅な変更があった場合、参加費用や参加条件が変更になる可能性もございますので予めご了承下さい。

## 参加における注意事項

### ■ 海外旅行保険について

ご出発前に、特に以下の点をご考慮の上、海外旅行保険にご加入頂けますよう、お願い申し上げます。

所属先企業としてご加入されている場合は、事前に補償内容についてのご確認をお願い致します。

- 提携病院の有無（あればその病院名、住所、通訳サービスの有無、医療費一時支払必要性の有無など）
- 飛行機が遅延した際の費用保障
- 保険会社名、保険加入番号、緊急時連絡先
- 補償限度額（入国時に、補償額への条件を設けた海外旅行保険加入を義務付けている国がございます）

### ■ 渡航前準備について

訪問先の入国時に、査証が必要となる場合がございます。

査証取得のお手続き、費用のお支払い等については、ご参加者様ご自身にてお願い致します。

詳細につきましては、事務局にお問い合わせください。また事前打ち合わせ会でも、詳しくご説明する予定です。

## 一般社団法人日本技術者連盟 役員構成

会長	村上 雅人	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 監事、芝浦工業大学 元 学長、工学博士
顧問	野々内 隆	元 通商産業省資源エネルギー庁長官、元一般財団法人経済産業調査会 理事長
	斎藤 信男	慶應義塾大学 名誉教授 工学博士
	松井 一秋	一般財団法人エネルギー総合工学研究所 研究顧問
理事	井戸田 勲	一般社団法人日本技術者連盟 専務理事
	梶原 豊	高千穂大学 名誉教授 経営学博士
	浮舟 邦彦	学校法人滋慶学園 総長 Ph.D.
	内藤 香	元 公益財団法人核物質管理センター理事長
	林道 寛	元 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 バックエンド推進部門長

主催 : 一般社団法人日本技術者連盟 (Japan Engineers Federation : JEF)  
総合事務局 : 株式会社アジア技術移転機構 (Asia Technology Transfer Organization, Inc. : ATTO)  
〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号  
TEL : 03-6229-1946 (JEF) / 03-6229-1950 (ATTO)

「欧州・トルコにおける無人機(UAV/USV/UUV)先端技術防衛産業サプライチェーン調査団」  
参加申込書

一般社団法人 日本技術者連盟（JEF） 行

フリガナ						
会社名・団体名						
所属名/役職名						
フリガナ		生年月日	西暦	年	月	日
参加者氏名						
パスポート記載名 (ローマ字 姓名)		英文表記名 (Mr. Ms. Dr. Ph.D.なども記載)				
E-mail		携帯電話番号				
勤務先	ご住所	〒 -				
	電話番号		FAX番号			
ご自宅	ご住所	〒 -				
	電話番号					
フリガナ						
担当責任者名 今回の参加について 状況をご存知の方		印				
所属名/役職名						
電話番号/E-mail						
旅券（パスポート）について：今回の旅行に必要な旅券をお持ちですか。（日本帰国日より3ヵ月以上の残存期間が必要）						
① はい	旅券番号：	有効期限	西暦	年	月	日
② いいえ	取得予定日	2024	月	日		
強いアレルギーなど ございますか	なし ・ あり （ ありの場合、対象物、アレルギーの程度を具体的にお知らせください					
語学力	英語について (	問題あり・なし、TOEFL点数など )	英語以外に、お使いになれる言語がございますか？ (			
通信欄 ご質問・ご希望等	マイレージをお持ちの方は番号をご記載ください（例 JAL 1234567、 ANA 2345678 他）					

個人情報保護方針

旅行申込書にご記入いただく、氏名、年齢、生年月日、電話番号、メールアドレス、住所、勤務先等の情報は「個人情報」に該当しますので、企画主催・企画実施・取扱旅行社・総合事務局は以下に掲げる個人情報の取扱いに関する基本方針及び個人情報に関して適用される法令を遵守して、お客様に関する個人情報の適正な管理・利用と保護に万全を尽くします。

1. 個人情報保護利用の目的

お客様がお申し込みになられた運送、宿泊その他の旅行に関するサービス（以下「旅行サービス」といいます）を手配するために必要な範囲で情報を利用いたします。また、旅行サービス提供機関に対し、お客様の氏名、パスポート番号及び現地滞在先等をあらかじめ電子的方法等で送付することによって提供します。

2. 個人情報の開示・提供

下記の場合を除き、お客様からお預かりした個人情報を第三者に開示・提供いたしません。

ア. ご本人の同意がある場合

イ. 旅行サービス提供機関や販売店の手配業務委託先に、旅行サービス手配に必要な最小限度の情報を開示・提供する場合。

ウ. 法的な命令等により個人情報の開示・提供が求められた場合。

3. 個人情報に関するご質問、又はご意見は、総合事務局にて受けいたします。

# JEF ベストプラクティス視察団／調査団派遣理念

## － 世界の最良の現場に学ぶ－

### ◆理念

「越境」とは、今いる場所を一步外に出て、新しい知見や価値観を学ぶことです。

JEF ツアーは、海外の最前線を実際に訪れ、現地での一次情報、現場の空気、人との交流を通じて学びを深め、参加企業の経営革新と人材の創造的発展につなげることを目的としています。

### ◆意義

日本人は古くから「越境」によって成長してきました。

遣唐使・遣隋使に始まり、明治維新の欧米使節団、そして戦後の経営・技術視察団まで、外から学び、それを自国の発展に生かしてきた歴史があります。

この「外に出て学び、持ち帰り、実践する」という好循環こそ、企業再生の原動力であり、現代における“越境”の真の意義です。

### ◆越境のプロセス

1. 越境の意識を持ち、外に出る
2. 未知との出会いを通じて学び・成長する
3. 得た学びを持ち帰り、組織や企業内ネットワークに還元する

この一連のサイクルが、個人と組織のイノベーションを生み出す原動力となります。

### ◆越境が求められる理由

#### 【個人にとって】

- ・働き方改革により多様な価値観と接する機会が増加
- ・人生100年時代への対応
- ・働き方の変化によるロールモデルの喪失

#### 【組織にとって】

- ・持続的成長を支えるイノベーション人材の育成
- ・社会的責任（CSR・ESG）の強化
- ・組織と個人の関係性の再構築

### ◆生成AI 時代における越境の価値

生成AIは便利なツールである一方、私たちの「現場で学ぶ力」や「一次情報に触れる機会」を奪う危険もあります。

AIには“現場”“現物”“現実”が存在しません。だからこそ、人との信頼関係を築き、現場で学び、実体験から思考する越境の学びが、これからの時代にますます重要になります。

### ◆期待される JEF ツアーの効果

- ・世界で得た一次情報・実体験・海外人脈に基づく提言・報告・イノベーション創出
- ・新たなネットワークの形成と国際協働の促進
- ・自社の技術・経営・人材育成への直接的な還元